

人権

人権の尊重

「人権尊重」の取組みは、国際的に重要性が増しており、当社グループは経営課題に取り込むべきマテリアリティの一つとして位置付けています。当社グループは、2022年9月に「人権」に対する責任を明確に示し、事業活動に関わる全ての人の「人権」を尊重するため、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」他、国際規範等

に基づき「人権方針」を策定しています。



「人権方針」の詳細は、WEB サイトをご覧ください。
<https://www.snk.co.jp/csr/society/employee-engagement>



人権デューデリジェンス

当社グループは、社内およびサプライチェーン上での事業活動における人権への負の影響の特定と、それらを防止・軽減するための措置について、以下プロセスにて人権デューデリジェンスを構築し、継続的に実施しています。

当社グループは、現在、「優先的に対応する人権リスク」として7つを特定し、潜在的もしくは顕在的に発生している人権への負の影響を評価しています。潜在的なリスクについては低減のための

適切な対策を実施、顕在的なリスクについては負の影響を取り除くなど、適宜問題解決に取り組むとともに、被害者への適切な救済措置を実施します。



「優先的に対応する人権リスク」および取組みの詳細は、WEB サイトをご覧ください。
<https://www.snk.co.jp/csr/respect/>



新日本空調グループ人権方針（2022年9月制定）



サプライチェーンマネジメント

基本的な考え方

当社グループは現場業務やサプライチェーン業務の効率化を図るとともに、労働災害の撲滅や脱炭素社会の推進、建設業界における労働力不足などの社会課題に対し、独自の施策を運用しています。サプライチェーンマネジメントをとらして社会課題の解決を図り、社会の持続性に貢献したいと考えています。

主な取組み1 優秀技能者「SNK匠」

「SNK匠」は、2008年度に導入した、安全・品質活動の向上に顕著な実績を上げた優秀な技能者である協力会社の職員や職長を認定する制度です。現在までに認定された延べ75名の皆様には、その技術を業務の中で活かし技術を伝承していただくとともに、特別安全パトロール等に参加し、現場作業員に対する指導も行っている。当社では今後も、安全・品質の向上に協力会社やサプライヤーとともに取り組んでいきます。

主な取組み2 SNK-EDI

関係協力会社との取引業務（発注・検収）に関して2022年度より当社独自の電子取引システム「SNK-EDI」を導入しており、現在では100%の利用率を維持しています。2024年度は国内グループ会社への導入も完了し、グループ全体でサプライチェーン業務の効率化・平準化を実現しました。CSR調達方針に基づき、公正で透明性のある取引環境を維持するため、今後もSNK-EDIのさらなる活用を推進していきます。

財務・企業データ

DATA / COMPANY INFORMATION

SNKのESG経営の成果

新日本空調グループは、社会への貢献と、経営の持続性を両輪として取組みを推進しています。その成果である非財務・財務データなどを紹介します。

CONTENTS

- 63 非財務サマリー
- 65 11カ年財務サマリー
- 67 会社概要／株式情報